

# 山佐交流センターだより

2018年（平成30年）6月号

発行日 平成30年5月18日

発行 山佐交流センター TEL(FAX) 35-0129



上山佐のイメージキャラクター「てんぼごん」

## 山佐ダムでイベント 家族連れでにぎわう

第6回目をむかえる「山奥のたのしい課外授業」が4月29日、山佐ダムキャンプ場で開催されました。

主催はYamasa club（代表：岡田秀明さん）。市内外の26の店舗で、手打ちそばやカレー、洋菓子などの飲食物、そしてカバンやアクセサリなどの雑貨を販売。また尼子太鼓の演奏やダンス、参加型紙芝居やバンド演奏などのステージイベントもあり、来場者から盛んな拍手がおくられていました。

そして会場中央にはメンバーが手作りした竹モニュメントを設置。滑り台やブランコも取り付けられており、多くの子ども達が歓声をあげ遊んでいました。

来場者は主催者発表で約1,500人。地元の方はもとより市内外から多くの方の来場があり、上山佐の良いピーアールになったものと思います。



## 子供みこし 地域内を練り歩く

5月5日、子供みこしの巡行が行われました。主催は愛山会（会長：和田誠さん）。

平成14年に始まったこの事業、今年で17回目をむかえ毎年お馴染みの恒例行事になりました。

少子化により当時と比較すると子どもの数は少なくなりましたが、参加する子ども達はもとより、そのお父さんお母さん、そして沿道で声援をおくる地域の皆さんの姿は、今も変わらないものだと思います。

少子化に歯止めをかけ、いつまでもこの行事が続いて欲しいものです。



## 主な事業の日程決まる

交流センター運営協議会が開催され、本年度の交流センター主要事業の日程が次のとおり決定されました。

○盆踊り大会 8月15日(水)

○敬老会 9月16日(日)

○文化祭 10月21日(日)

盆踊り大会と文化祭は、今後各自治会から選出いただいた実行委員さんを中心に実施方法が検討されます。

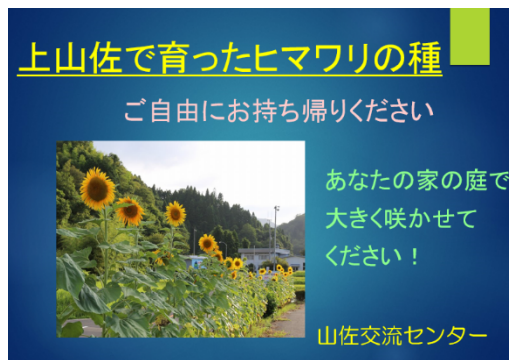
また敬老会については、従来慣例により交流センターと自治会で交互に開催されていましたが、運営協議会において今後は慣例としてではなく、取り決めとして隔年開催されることになりました。本年度は交流センターで、来年度は自治会という順序で行われます。

またコミュニティ再生会議と共同開催する事業については、今後の協議により内容や日程が決定されますので、交流センターだよりなどで都度お知らせします。地域活力増進のための活動の良いアイデアがあれば、交流センターへ連絡してください。

## 交流センターで無料配布します

現在交流センターでヒマワリの種を無料配布しています。ご来館いただき、ご自由にお持ち帰りください。

また先月の「山奥のたのしい課外授業」の竹モニュメントの竹を粉碎しビニール袋に詰めて保管しています。一か月程度で発酵し肥料になります。6月になるとこちらでも無料配布をします。いずれも無くなりしだい終了しますので、お早めにお越しください。



## 健康づくりの活動を行っています

交流センターでは健康づくりを推進するため、定期的に交流センター講堂で次の事業を行っています。皆さんのご参加をお待ちしています。お聞きになりたいことがあれば、交流センターにお問い合わせください。

○健康体操

毎週月曜日及び木曜日の午前10時から

○クロリティ・スカットボール会

毎月第3水曜日の午後1時30分から

(事前に新聞折込でお知らせします)



6月	地域行事・交流センター行事などの予定
1 金	
2 土	小学校「なかよし運動会」
3 日	
4 月	健康体操、珠算教室
5 火	
6 水	てんばこどもクラブ
7 木	健康体操、カラオケサークル、てんばこどもクラブ
8 金	てんばこどもクラブ
9 土	珠算教室
10 日	
11 月	健康体操、珠算教室
12 火	
13 水	てんばこどもクラブ
14 木	健康体操、てんばこどもクラブ
15 金	てんばこどもクラブ
16 土	珠算教室、交流センター煙突掃除
17 日	自主防災会救急救命講習会
18 月	健康体操、珠算教室
19 火	
20 水	クロリティ・スカットボール練習会、てんばこどもクラブ
21 木	健康体操、カラオケサークル、てんばこどもクラブ
22 金	てんばこどもクラブ
23 土	珠算教室
24 日	
25 月	健康体操、珠算教室
26 火	
27 水	てんばこどもクラブ
28 木	健康体操
29 金	てんばこどもクラブ
30 土	珠算教室

(予定は変更になることもあります)

### 【編集後記】

年度が変わり2か月近く経ちました。交流センターだよりについて既にお気づきの方もいらっしゃると思いますが、交流センター主催の事業だけでなく、地域のいろいろなニュースを掲載するスタイルに変更しています。今後もこうした形に加え、人口が減ったり少子高齢化が進む中、様々な地域課題に目を向けた紙面にしていきたいと思っています。